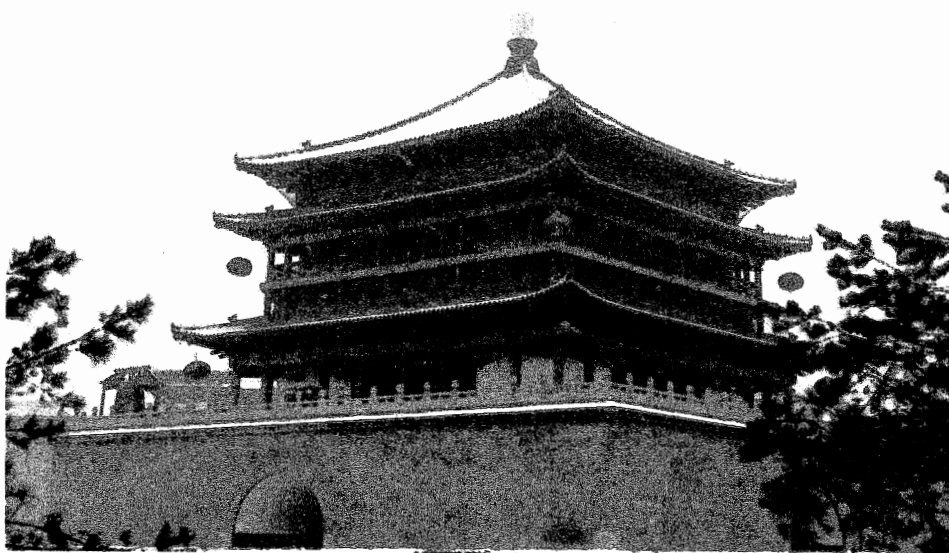


東アジア世界史研究センター 平成21年度 シンポジウム

古代東アジアの 交流と留学生



西安 鐘楼

文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（オープン・リサーチ・センター整備事業）

「古代東アジア世界史と留学生」

日時：平成21年11月21日（土）10:00～17:00

22日（日）10:00～17:30

会場：専修大学神田校舎1号館3階302教室

東アジア世界史研究センターの研究計画〈概要〉

【研究目的】

これまでの東アジア世界を対象とした歴史研究プロジェクトは、壮大なテーマを掲げて取り組んできましたが、本プロジェクトは、追求すべきテーマを絞り込み、古代東アジア世界を流動した人々との対比を視野に入れた上で、東アジアの国々が、様々な文化・文物の流入を期待し、それを直接に担った「留学生」に焦点を絞り、テーマを設定しました。

先進文明国に位置する中国への留学生は、文化・文物を「移植」・「媒介」した存在ではありますが、その果たした歴史的な意義は、十分に明らかにされていません。

本プロジェクトは、本学大学院が発見に大きな役割を果たした「遣唐使井真成墓誌」で培われました中国西北大学大学院との共同研究（その成果の一部は『遣唐使の見た中国と日本』朝日新聞社、2005年、として刊行）を基礎として、1. 隋・唐代の中国を訪れた東アジアからの留学生の全貌を明らかにした上で、2. 古代東アジアの国々への影響を解明するものであります。これは、文物の「媒介者」の歴史的意義を問う試みであり、グローバル化した現代において見失われがちな「媒介者」の正当な位置づけとその果たしている重要性を確認させる点において、現代的な意義を有する研究といえます。また、研究計画を遂行する中で、日本人に限定しないで、東アジア世界の若手研究者の育成を目的の一つにしていることも、本プロジェクトの特徴となっています。

【研究テーマ】

- ① 遣唐使井真成墓誌関係史資料の研究
- ② 日本・中国・朝鮮の「留学生」史・資料についての研究
- ③ 政治・制度・文化・思想の接触と受容からみた東アジア世界の研究
- ④ 物の移動からみた東アジア世界の研究

・研究プロジェクトの参加研究者

	研究課題	参加調査・研究チーム
専修大学		
荒木 敏夫	東アジアにおける政治史	①・③*
矢野 建一	東アジアにおける留学生の位置	①*・③
亀井 明德	東アジア世界と中国・日本	③・④
土生田純之	東アジア世界と朝鮮・日本	③・④*
飯尾 秀幸	律令制度と東アジア世界史	②*・③
内藤 雅雄	東アジア世界と南アジア世界の交流	③・④
田中 正敬	東アジア世界のなかの朝鮮半島	③・④
松原 朗	東アジア世界における文化的人的交流	②・③
土屋 昌明	東アジア世界における文化的人的交流	②・③
巖 基珠	東アジア世界における文化的人的交流	②・③

*は各研究テーマのチームリーダー

西北大学（中国）

王 建新	東アジア世界と中国	③・④
王 維坤	東アジア世界と中国	③・④

リサーチ・アシスタント

小笠原 強	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（中国近現代史）
窪田 藍	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（日本古代史）
福島 大我	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（中国古代史）

平成21年度シンポジウム 第1日目

プログラム

趣旨説明

10:00~10:20

荒木 敏夫

(東アジア世界史研究センター代表/専修大学教授)

講演

10:20~11:20

鈴木 靖民 (國學院大學教授)

「遣唐使研究と東アジア論」

11:30~12:30

濱田 耕策 (九州大学教授)

「新羅の遣唐使と留学生」

12:30~13:30

休憩

13:30~14:30

酒寄 雅志 (國學院大學栃木短期大学教授)

「渤海の遣唐使」

14:40~15:40

森 公章 (東洋大学教授)

「遣隋・遣唐留学者とその役割」

15:40~16:00

休憩

16:00~17:00

討論

司会・進行

荒木 敏夫 (東アジア世界史研究センター代表/専修大学教授)

飯尾 秀幸 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

■ 講師紹介

■ 荒木 敏夫（あらかし としお） 専修大学文学部教授

東京都立大学大学院人文科学研究科史学専攻（博士課程）退学

【主要著書・論文】『可能性としての女帝－女帝と王権－』（青木書店、1999年） 『日本古代王権の研究』（吉川弘文館、2006年） 『日本の女性天皇』（小学館、2006年）

■ 鈴木 靖民（すずき やすたみ） 國學院大學大学院委員長・教授

國學院大學大学院文学研究科博士課程単位取得退学（文学博士）

【主要著書・論文】『古代対外関係史の研究』（吉川弘文館、1985年） 『倭国と東アジア』（編著、吉川弘文館、2002年） 『古代日本の異文化交流』（編著、勉誠出版、2008年） 『円仁とその時代』（編著、古志書院、2009年）

■ 濱田 耕策（はまだ こうさく） 九州大学大学院人文科学研究科教授（朝鮮史学講座）

学習院大学大学院人文科学研究科博士課程修了（博士・史学）

【主要著書・論文】『渤海国興亡史』（吉川弘文館、2000年） 『新羅国史の研究』（吉川弘文館、2002年）

■ 酒寄 雅志（さかより まさし） 國學院大學栃木短期大学日本史学科教授

一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学 博士（歴史学）

【主要著書・論文】『渤海と古代の日本』（校倉書房、2001年） 「古代日本と蝦夷・隼人、東アジア諸国」（佐藤信編『律令国家と天平文化』吉川弘文館、2002年） 「最澄の将来目録と遣唐使の印」（『栃木史学』20、2006年） 「遣唐使時代における渤海の位置」（『東海史学』41、2007年） 「北関東の古代社会と渡来人・蝦夷」（『国史学』198、2009年）

■ 森 公章（もり きみゆき） 東洋大学文学部教授

東京大学大学院博士課程単位取得退学 博士（文学）

【主要著書・論文】『古代日本の対外認識と通交』（吉川弘文館、1998年） 『古代郡司制度の研究』（吉川弘文館、2000年） 『長屋王家木簡の基礎的研究』（吉川弘文館、2000年） 『遣唐使と古代日本の対外政策』（吉川弘文館、2008年） 『地方木簡と郡家の機構』（同成社、2009年）

■ 司会紹介

■ 飯尾 秀幸（いいお ひでゆき） 専修大学文学部教授

東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

【主要著書・論文】『中国古代社会史論』（共訳、名著刊行会、1997年） 『中国史のなかの家族』（山川出版社、2008年） 「中国古代の法と社会」『岩波講座、世界歴史』（第5巻、岩波書店、1998年） 「中国古代における個と共同性の展開」（『歴史学研究』729号、1999年） 「中国国家史研究は進んだか」（『歴史学研究』782号、2003年） 「中国古代における人の移動とその規制に関する基礎的研究」（『専修大学人文科学年報』37号、2007年）

平成21年度シンポジウム 第2日目

プログラム

趣旨説明

10:00~10:20

矢野 建一

(東アジア世界史研究センター研究員／専修大学教授)

講演

10:20~11:20

王 維坤 (東アジア世界史研究センター客員研究員／

西北大学国際文化交流学院副院長・教授)

「7・8世紀の長安の考古学」

11:30~12:30

李 浩 (西北大学文学院院长・教授)

「新出土文献から見た唐代の中外文化交流」

通訳：丸井 憲 (専修大学経営学部兼任講師)

12:30~13:30

休憩

13:30~14:30

土屋 昌明 (東アジア世界史研究センター研究員／

専修大学教授)

「唐の道教をめぐる朝鮮と遣唐使」

14:40~15:40

田島 公 (東京大学史料編纂所教授)

「遣隋使・遣唐使のもたらしたもの

—様々な知識体系の将来—」

15:40~16:00

休憩

16:00~17:30

討論・総括討論

司会・進行

松原 朗 (東アジア世界史研究センター研究員／専修大学教授)

土生田純之 (東アジア世界史研究センター研究員／専修大学教授)

■ 講師紹介

■ 矢野 建一 (やの けんいち) 専修大学文学部教授 立教大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学

【主要著書・論文】『遣唐使の見た中国と日本』(共著、朝日新聞社、2005年) 『長安都市文化と朝鮮・日本』(共編著、汲古書院、2007年) 『長安都市文化と朝鮮・日本』(共編著、三秦出版社、2008年) 「井真成研究-その後の研究動向によせて-」(『人文科学年報』37、2007年) 「中国における入唐留学生研究の動向」(『人文科学年報』38、2008年) 「遣唐使の派遣と春日山祭祀」(『東アジア世界史研究センター年報』1、2008年)

■ 王 維坤 (オウ イコン wang weikun) 西北大学国際文化交流学院副院長・教授 同志社大学文学博士

【主要著書・論文】『中日の古代都城と文物交流の研究』(朋友書店、1997年) 『中日文化交流的考古学研究』(陝西人民出版社、2002年) 王維坤・宇野隆夫編『古代東アジア交流の総合的研究』(共編、国際日本文化研究センター共同研究報告、2008年) 『鼎談 天武・持統朝に日本文化は成立したか』(話者・上田正昭・山折哲雄・王維坤 司会・小橋弘之、京都文英堂、2009年) 「論西安北周粟特人墓和闐賁人墓的葬制与葬俗」(『考古』2008年10期) 「論北魏洛陽城的建制及其特点」(西北大学考古学系・西北大学文化遺産与考古学研究中心編『西部考古』3、三秦出版社、2009年) 「唐日本留学生井真成墓誌の発現与最新研究」(西安碑林博物館編『碑林集刊』14、三秦出版社、2009年)

■ 李 浩 (リ コウ li hao) 西北大学文学院院长・教授 陝西師範大学文学研究所修了(文学博士)

【主要著書・論文】『唐代園林別業考論(修訂版)』(西北大学出版社、1998年) 『唐代關中士族与文学(增訂本)』(中国社会科学出版社、2003年) 『唐代園林別業考録』(上海古籍出版社、2005年) 『唐代三大地域文学士族研究(增訂版)』(中華書局、2008年 日本語訳『唐代<文学士族>の研究-關中・山東・江南の三地域に即して』研文出版、2009年) 『唐詩美学精読』(復旦大学出版社、2009年)

■ 土屋 昌明 (つちや まさあき) 専修大学経済学部教授 國學院大學文学研究科博士課程満期修了

【主要著書・論文】『神仙幻想』(春秋社、2003年) 「開元期の長安道教の諸問題-金仙・玉真公主をめぐる」(王維坤・宇野隆夫編『古代東アジア交流の総合的研究』、国際日本文化研究センター、2008年)

■ 田島 公 (たじま いさお) 東京大学史料編纂所教授 京都大学大学院文学研究科博士後期課程(国史学専攻)中途退学

【主要著書・論文】『日本、中国・朝鮮対外交流史研究(稿)-大宝元年~文治元年-』(編著、便利堂、1990年、のち「日本、中国・朝鮮対外交流史年表-大宝元年~文治元年-」(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館編『貿易陶磁-奈良・平安の中国陶磁-』、臨川書店、1993年) 『禁裏・公家文庫研究』1・2・3(編著、思文閣出版、2003年・2006年・2009年) 『福井県史』通史編1 第四章 第五節「奈良末・平安初期の対外関係」・第六章 第五節「平安中・後期の対外関係」(共著、福井県、1993年) 「日本の律令国家の「賚礼」-外交儀礼より見た天皇と太政官-」(『史林』68-3、1985年) 「外交と儀礼」(岸俊男編『日本の古代』7、中央公論社、1986年) 「遣唐使はなぜ派遣されたか」(吉村武彦・吉岡眞之編『争点 日本の歴史』3、新人物往来社 1991年) 「海外との交渉」(橋本義彦編『古文書の語る日本史』2、筑摩書房 1991年) 「大宰府鴻臚館の終焉-八世紀~十一世紀の対外交渉システムの解明-」(『日本史研究』389、1995年) 「真如(高丘)親王一行の「入唐」の旅-「頭陀親王入唐略記」を読む-」(『歴史と地理』502、1997年) 「冷泉家旧蔵本『長秋記』に見える「高麗」・「渤海」・「東丹国」」(上横手雅敬編『中世公武権力の構造と展開』、吉川弘文館、2001年) 「大陸・半島との往来」(吉村武彦編『列島の古代史』4、岩波書店、2005年)

■ 司会紹介

■ 松原 朗 (まつばら あきら) 専修大学文学部教授 早稲田大学大学院文学研究科博士課程満期退学 博士(文学)

【主要著書・論文】『唐詩の旅-長江篇』(社会思想社、1997年) 『漢詩の事典』(共著、大修館書店、1999年) 『中国離別詩の成立』(研文出版、2003年)

■ 土生田 純之 (はぶた よしゆき) 専修大学文学部教授 關西大学大学院文学研究科修士課程修了

【主要著書・論文】『日本横穴式石室の系譜』(学生社、1991年) 『黄泉国の成立』(学生社、1998年) 『古墳時代の政治と社会』(吉川弘文館、2006年) 『古墳学入門』(共編著、学生社、2003年) 『古墳時代の実像』(共編著、学生社、2008年) 『文化遺産と現代』(共編著、同成社、2009年)

■ 通訳紹介

■ 丸井 憲 (まるい けん) 専修大学経営学部兼任講師 北京大学中国語文学系比較文学研究所博士課程修了(文学博士)

【主要著書・論文】『朱子絶句全訳注第四冊』(共著、汲古書院、2008年) 「杜甫の五言『拗律』について(上)」(『中国詩文論叢』27、2008年)

東アジア世界史研究センター

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

TEL/044-911-1283 FAX/044-911-1348

E-mail : east-asia@isc.senshu-u.ac.jp

主催：専修大学社会知性開発研究センター／東アジア世界史研究センター